



映像伝送器 VI 型および VII 型

取扱説明書

HYTEC INTER Co., Ltd.

第 2 版

ご注意

- 本書の中に含まれる情報は、当社（ハイテクインター株式会社）の所有するものであり、当社の同意なしに、全体または一部を複製または転載することは禁止されています。
- 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一、ご不審な点や誤り、記載漏れなどのお気づきの点がありましたらご連絡ください。

改版履歴

第 1 版	2021 年 07 月 10 日	新規作成
第 2 版	2023 年 1 月 5 日	改版(FW:2.22.12.328.056 対応)

ご注意

- 本製品及び付属品をご使用の際は、取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
- 本製品及び付属品を分解したり改造したりすることは絶対に行わないでください。
- 本製品及び付属品の故障、誤動作、不具合、あるいは天災、停電等の外部要因によって、通信などの機会を逸したために生じた損害等の純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品及び付属品は、改良のため予告なしに仕様が変更される可能性があります。あらかじめご了承ください。
- 本製品を掃除する時は、柔らかい乾いた布で汚れをふき取ってください。汚れがひどい場合は、中性洗剤をご使用ください。
- 太陽光などの非常に明るい被写体にカメラを向けるのは避けてください。イメージセンサが損傷する可能性があります。
- 本製品を使用する場合、Microsoft、Apple、Googleの関連コンテンツが含まれます。本ユーザーマニュアルの写真とスクリーンショットは、当社製品の使用方法を説明するためだけに使用しています。Microsoft、Apple、Googleに関連する商標、ロゴおよびその他知的財産の所有権は、上記の企業に帰属するものとします。
- 本ユーザーマニュアルは多くのモデルに対応しています。本ユーザーマニュアルで使用されている例と画像はすべて、対象のモデルの1つです。記載と異なる場合はご使用の製品に準じてください。

安全上のご注意

安全に正しくお使いいただくために

ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みの上、正しくお使いください。
お読みになった後はいつでも見られる所に保管してください。

尚、本機のファームウェアバージョンによっては、本書に記載のメニューと異なる場合があります。

絵表示について

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。

その表示と意味は次のようになっています。

内容をよく理解してから本文をお読みください。

お買い上げになった機器に当てはまらない注意事項もありますが、ご了承ください。



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



△記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。



○記号は禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

使用上の注意



警告



- **本機に乗らない！**
倒れたり、こわれたりしてけがの原因になることがあります。



- **本機の上に重いものを置かない！**
バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因になることがあります。



- **移動させる場合は、必ず電源スイッチを切り、プラグを抜き、機器間の接続ケーブルをはずす！**
コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。



- **長期間使用しないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜く！**
火災の原因となることがあります。



- **専用 AC アダプタ以外は使用しない！**
定格外の AC アダプタを使用すると、火災・感電の原因になることがあります。



- **電源コードを傷つけない！ 加工しない！ 無理に曲げない！ ねじらない！
引っ張らない！ 加熱しない！**
コードが破損して火災・感電の原因となります。



- **雷が鳴り出したら、同軸コネクタ/ケーブルや電源プラグに触れない！**
感電の原因になります。



- **指定された消費電力 (W) を越える装置は接続しない！**
火災の原因となります。本機の AC アウトレットが供給できる電力 (W) は AC アウトレット付近
または取扱説明書に表示してあります。



- **レンズで太陽・照明などをのぞかない！**
強い光が目にあたると視力障害を起こすことがあります。



● **本機のケース・裏パネル等はずさない!**

内部には高圧の部分があり、感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店または営業マンにご依頼ください。



● **本機の上に水などの入った容器を置かない!**

こぼれて中に入ると、火災・感電の原因になります。



● **風呂、シャワー室などの水場では使用しない!**

火災・感電の原因となります。



● **本機の上に小さな金属物を置かない!**

中に入ると、火災・感電の原因となります。



● **表示された電源電圧以外は使用しない!**

火災・感電の原因となります。



● **本機に水を入れたり、濡らしたりしない!**

火災・感電の原因になります。
雨天・降雪中・海岸・水辺での使用は特にご注意ください。



● **本機の開口部から金属物や燃えやすいものなどの異物を差し込まない! 落とし込まない!**

火災・感電の原因となります。



● **本機を改造しない!**

火災・感電の原因となります。

設置について



警告



● **不安定な場所に置かない!**

落ちたり、倒れたりして、けがの原因になります。



● **電源コードの上に重いものを置かない! 本機の下敷きにしない!**

コードが傷ついて、火災・感電の原因になります。コードの上を敷物などで覆うと、それに気付かず、重い物をのせてしまうことがあります。



- **水場に設置しない！**
火災・感電の原因となります。



- **指定された機器以外とは接続しない！**
火災・感電の原因となります。



- **本機の固定は工事専門業者に依頼を！**
本機を固定する場合は、指定された方法で正しく固定しないと、落ちたり、倒れたりして、火災・感電・けがの原因になります。特に、壁や天井に固定する場合は、必ず工事専門業者にご依頼ください。なお、取付け費用については、販売店または営業員にご相談ください。



- **湿気やほこりの多い場所に置かない！**
火災・感電の原因となることがあります。



- **調理台や加湿器のそばなど油煙や湿気が当たる場所に置かない！**
火災・感電の原因となることがあります。



- **本機の通風孔をふさがない！**
通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。次のような使い方はしないでください。
 - ・本機を仰向けや横倒し、逆さまにする。風通しの悪い狭い所に押し込む。
 - ・じゅうたんや布団の上に置く。テーブルやクロスなどを掛ける。



- **電源コードを熱器具に近づけない！**
コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。



- **電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない！**
コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。



- **濡れた手で電源プラグを抜き差ししない！**
感電の原因となることがあります。

異常時の処理について



警告



- 煙が出ている、変なおいや音がするなどの異常状態の場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグを抜く！



そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
煙が出なくなるのを確認して、販売店または営業マンに修理をご依頼ください。
お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。



- 本機の内部に水などが入った場合は、電源スイッチを切り、電源プラグを抜く！



そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
販売店または営業マンにご連絡ください。



- 本機の内部に異物が入った場合は、電源スイッチを切り、電源プラグを抜く！



そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
販売店または営業マンにご連絡ください。



- 本機が故障した場合は、電源スイッチを切り、電源プラグを抜く！



そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
販売店または営業マンに修理をご依頼ください。



- 本機を落としたり、ケースが破損した場合は、電源スイッチを切り、電源プラグを抜く！



そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
販売店または営業員にご連絡ください。



- 電源コードが傷んだ（芯線の露出・断線など）場合は、交換を依頼する！

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
販売店または営業員に交換をご依頼ください。

お手入れについて



注意



- お手入れの際は安全のため、スイッチを切り電源プラグを抜く！

感電の原因となることがあります。



- 一年に一度くらいは、販売店または営業マンに内部の掃除の相談を！

本機の内部にほこりがたまったまま使用し続けると、火災・故障の原因になることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。
なお、掃除費用については販売店または営業マンにご相談ください。



注意

本パッケージに含まれる内容に損傷、不足、不適當なものがあつた場合、お住まいの地域の販売店までご連絡ください。本製品の不正改造を行うと保証の対象外となります。

その他



通知

- 本書に記載された情報は予告なしに変更される場合があります。
- 本書に含まれる情報は、あくまで参考用とみなされます。



通知

- インターネットを経由する機能については、お客様のインターネット環境に合わせた設定が必要です。
- お客様のインターネット環境の変更が必要となる場合もあります。

目次

1. はじめに	12
1.1. 製品概要	12
1.2. 特徴	12
1.3. 監視アプリケーション	12
1.4. 製品外観	13
1.5. カメラの設置	13
2. ネットワーク接続	14
2.1. LAN	14
2.1.1. IP Finder によるアクセス	14
2.1.2. Microsoft Edge でカメラに直接アクセス	18
2.1.3. レコーダ(NVR/DVR)でカメラにアクセス	19
2.2. WAN	20
2.2.1. ルータまたは仮想サーバを介したアクセス	20
2.2.2. 静的 IP によるアクセス	21
3. ライブ画面	22
4. 設定画面	24
4.1. システム	25
4.1.1. 基本情報	25
4.1.2. 日付と時間	26
4.2. 映像/音声	28
4.2.1. カメラ	29
4.2.2. 映像	31
4.2.3. 音声	32
4.2.4. OSD	33
4.2.5. プライバシーマスク	34
4.2.6. 露出調整領域設定	35
4.2.7. ROI(Region of Interest)	36
4.3. アラーム設定	37
4.3.1. 動体検知	37
4.3.2. アラームサーバ	39

4.3.3. イベント.....	42
4.4. ネットワーク.....	45
4.4.1. TCP/IP.....	45
4.4.2. 詳細.....	47
4.5. セキュリティ設定.....	48
4.5.1. ユーザ.....	48
4.5.2. オンライン.....	50
4.6. メンテナンス.....	51
4.6.1. バックアップと復元.....	52
4.6.2. 再起動.....	53
4.6.3. 更新.....	54
4.6.4. 操作ログ.....	54
4.6.5. システムログ.....	55
5. 製品仕様.....	56
6. 困ったときには.....	58
7. 製品保証.....	59

1. はじめに

1.1. 製品概要

本機は、2メガピクセル、フルハイビジョン解像度：1920X1080で撮影することができる、高解像度・高ダイナミックレンジを実現したネットワークカメラです。

H.265の画像圧縮方式に対応しており、高画質および高データ圧縮率を実現しています。

モーション検知、FTP転送、メール送信など、IPカメラに要求される基本機能を装備し、屋外・屋内に関わらず、あらゆるシーンで使用できるIPカメラです。

1.2. 特徴

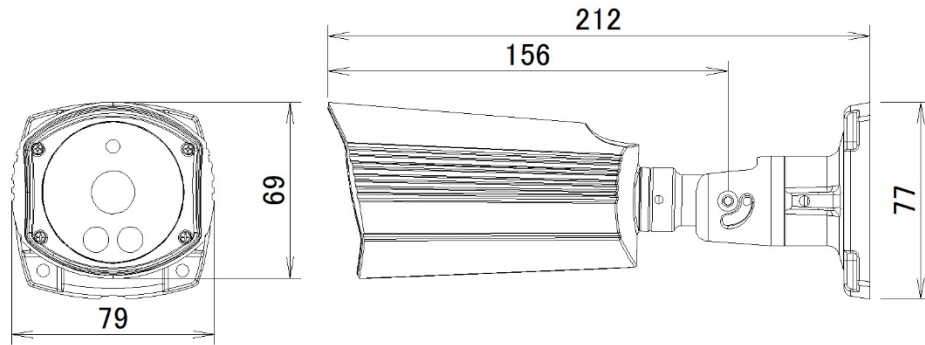
- 2Mpix フルハイビジョン解像度(1920x1080)により高画質、高感度を実現
- 赤外線LEDを装備し、夜間の照明のない環境でも撮影可能
- H.265/MJPEGに対応
- デジタルノイズリダクション/デジタルワイドダイナミックレンジ補正/バックライト補正/曇り鮮明化、と豊富な画像補正機能を搭載
- Day(カラー) / Night(白黒) 自動切替え
- ROI (Region Of Interest) 機能で注目領域を高解像度で撮影
- IP68規格対応の耐塵防水構造

1.3. 監視アプリケーション

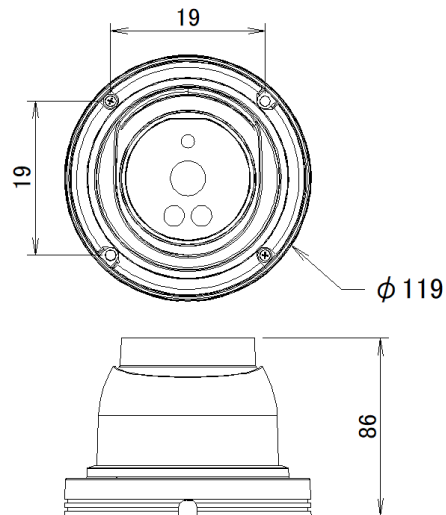


1.4. 製品外観

● 映像伝送器 VI 型 : バレットカメラ HIC-HB211



● 映像伝送器 VII 型 : ドームカメラ HIC-HD211



1.5. カメラの設置

本製品の設置については、以下の注意点をご確認の上、設置してください。

注 1 壁または天井がカメラの 3 倍の重量に耐えられる強度であることを確認してください。

注 2 カメラは乾燥した場所に設置してください。

注 3 取り付けが完了するまで保護フィルムを剥がさないでください。

2. ネットワーク接続

LAN または WAN 経由で IP カメラを接続します。詳細は次のとおりです。

2.1. LAN

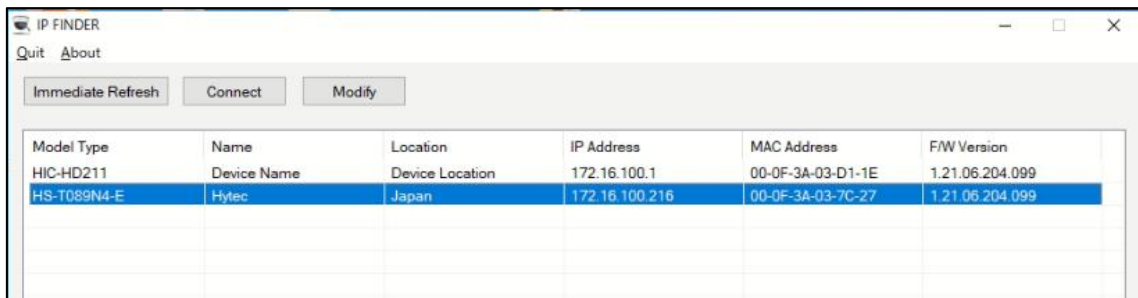
LAN では、IP カメラへのアクセス方法は 3 つあります。

2.1.1. IP Finder によるアクセス

ネットワーク接続：



- ① IP Finder を弊社サイトから PC(コンピュータ)にインストールしておきます。
- ② PCと IP カメラが LAN で接続されていることを確認します。
- ③ インストールした IP Finder を起動すると、以下のように動作します。



「Immediate Refresh」をクリックすると、接続されているカメラを再検索します。

「Connect」をクリックすると、ブラウザが起動し、選択した IP カメラに接続してログイン画面を表示します。

「Modify」をクリックすると、選択したカメラの IP アドレスを修正することができます。

もし接続されているカメラ数が多く、目的のカメラを発見できない時は、一度カメラの電源を OFF し、しばらくしてから再度起動します。すると、そのカメラはリストから消失、再表示しますので特定しやすくなります。

- ④ 必要に応じて IP アドレスを変更します。変更したいカメラをクリックして選択してから、「Modify」ボタンをクリックすると、ネットワーク情報をポップアップ表示します。ネットワークアドレスがコンピュータのロー

カルネットワークセグメントと同じであることを確認します。同じでない場合は、カメラの IP アドレスとゲートウェイを変更する必要があります。

例：コンピュータの IP アドレスが 172.16.2.4 である場合、カメラの IP アドレスを 172.16.2.X に設定します。変更後、管理者のパスワードを入力し、「Update」ボタンをクリックして変更します。

管理者のデフォルトログインは“**admin**”、パスワードは“**admin**”です。

変更後、カメラが再起動されます。数分経過してから IP Finder で再度検索してください。

- ⑤ リスト内のカメラをダブルクリックすると、ブラウザがポップアップして IP カメラに接続します。

注：設定によって、IE が起動する場合があります。**IE は未サポートとなりました**ので、一度終了して、別の Web ブラウザで再度ログインしてください。

- ⑥ ブラウザでログイン画面が表示されたら、表示する言語を選択してから、ユーザ名とパスワードを入力して、ログインしてください。ユーザ名やパスワードを記憶しておくと次回ログインからは[ログイン]ボタンのクリックのみでログインできます。使用環境に合わせてチェックして設定してください。

ユーザー名 アカウントを記憶する

admin

パスワード パスワードを記憶する

.....

パスワードを表示

言語

日本語

ログイン

デフォルトパスワードを使用すると下図が表示されてパスワードの変更を求められますので、そのまま使用を継続するか、24 時間後に再通知とするか、あるいは、パスワードを変更するかを選択して [保存] ボタンをクリックしてください。パスワードを変更する場合は、「**8～16 文字。英数字で大文字、小文字が含まれる**」文字列としてください。

デフォルトのパスワードを変更する

デフォルトパスワード (admin) で使用する

24時間表示されない

パスワードを変更する

ユーザー名

admin

新しいパスワード パスワードを表示

パスワードを認証する パスワードを表示

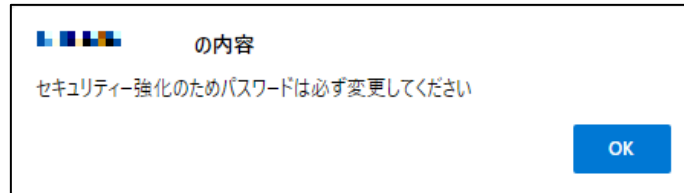
弱い 普通 強い

8～16文字。英数字で大文字、小文字で構成します

保存

そうすると、もとのログイン画面に戻りますので、パスワードを変更した場合はパスワードを入力しなおしてから、再度[ログイン]ボタンをクリックしてログインしてください。

なお、デフォルトのパスワードを継続すると、ログインのたびに以下が表示されます。セキュリティ強化のためパスワードの変更を推奨します。



2.1.2. Microsoft Edge でカメラに直接アクセス

出荷時のカメラのネットワーク設定は以下の通りです。

IP アドレス : 192.168.1.200	サブネットマスク : 255.255.255.0
ゲートウェイ : 192.168.1.1	HTTP ポート : 80

LAN ケーブルを使用して、カメラとコンピュータを直接接続します。



- ① PC の IP アドレスを、IP カメラのデフォルト設定と同じネットワークセグメント（192.168.1.*）に設定します。PC のコントロールパネルを開き、ネットワークと共有センター ⇒ アダプタの設定の変更 ⇒ イーサネットを開きます。（例：Windows10）
- ② イーサネットのプロパティから「インターネット プロトコルバージョン 4(TCP/IPv4)」を開きます。PC の IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、DNS サーバを入力し、「OK」をクリックします。
- ③ ブラウザを開き、IP カメラのデフォルト IP アドレスを入力します。
- ④ ログイン画面でデフォルトのユーザ名とパスワードを入力し、ログインをクリックします。
- ⑤ 必要なソフトが不足している場合、指示に従って、該当するプラグインをインストールして実行します。

以降は、「2.1.1IP Finder によるアクセス」と同じです。

2.1.3. レコーダ(NVR/DVR)でカメラにアクセス

出荷時のカメラのネットワーク設定は以下の通りです。

IP アドレス : 192.168.1.200	サブネットマスク : 255.255.255.0
ゲートウェイ : 192.168.1.1	HTTP ポート : 80

LAN ケーブルを使用して、カメラとレコーダを接続します。



レコーダの機種により接続方法は異なりますので、詳しくはレコーダのマニュアルなどを参照してください。以下は弊社製品との例となります。

- ① レコーダの IP アドレスを、IP カメラのデフォルト設定と同じネットワークセグメント（192.168.1.*）に設定します。レコーダの設定メニューで、設定→ネットワーク→TCP/IP を開き、IPv4 アドレスをカメラと同じセグメント：192.168.1.*に設定します。レコーダの IP アドレスが変更できない場合は、上述の 2 つの方法でカメラの IP アドレスを変更してください。
- ② レコーダの設定メニューで、設定→カメラ→カメラ追加→簡単追加、を開くと、192.168.1.200 の Onvif カメラが表示されていますので、編集アイコンをクリックして、カメラの IP アドレスを設定して保存します。
- ③ レコーダと同じセグメントの IP アドレスに設定した場合、暫くして IP アドレスの変更が完了すると、設定した IP アドレスで簡単追加リストに表示されます。もし、レコーダと異なるセグメントの IP アドレスに設定した場合は、カメラの IP アドレス設定が完了すると、簡単追加リストから消滅します。この場合、レコーダの IP アドレスを、カメラと同じセグメントの IP アドレスに変更することで、カメラは簡単追加リストに表示されます。
- ④ 簡単追加リストに表示されたカメラは、☑を有効にしたあと、追加をクリックするとレコーダに登録され、カメラ編集メニューに表示されます。

2.2. WAN

WAN では、IP カメラへのアクセス方法は 2 つあります。

2.2.1. ルータまたは仮想サーバを介したアクセス

ネットワーク接続：



- ① カメラがローカルネットワークで接続されていることを確認し、LAN 経由でカメラにログインします。
- ② 設定>ネットワーク>詳細メニュー(「4.4.2 詳細」を参照)に移動して、ポート番号を設定します。

Port :	
<input checked="" type="checkbox"/> HTTP有効	ポート <input type="text" value="80"/>
<input checked="" type="checkbox"/> RTSP有効	ポート <input type="text" value="554"/>
<input checked="" type="checkbox"/> FTP有効	ポート <input type="text" value="21"/>
<input checked="" type="checkbox"/> UPnP有効	
<input checked="" type="checkbox"/> ARP/Ping有効	

- ③ 設定>ネットワーク>TCP/IP メニュー(「4.4.1 TCP/IP」を参照)に移動して、IP アドレスを設定します。「固定 IP アドレス」を選択し、IP アドレスなどのパラメータを入力します。

<p>IPv4</p> <p><input type="radio"/> DHCP サービス</p> <p><input checked="" type="radio"/> 固定 IP アドレス</p> <p>IP アドレス： <input type="text" value="172.16.100.216"/></p> <p>ネットマスク： <input type="text" value="255"/>.<input type="text" value="255"/>.<input type="text" value="0"/>.<input type="text" value="0"/></p> <p>ゲートウェイ： <input type="text" value="172.16.100.1"/></p>	<p>DNS</p> <p>プライマリ1： <input type="text" value="8.8.8.8"/></p> <p>セカンダリ2： <input type="text" value="8.8.4.4"/></p>
<input type="button" value="保存"/>	

WAN 経由で通信する場合は、ルータでポートフォワーディングの設定をする必要があります。

HTTP ポートをフォワーディングしてください。

- ④ Web ブラウザを開き、アクセスする WAN IP と HTTP ポートを入力します。

例 : `http://172.16.100.216:8005`

以降は、「2.1.1 IP Finder によるアクセス」と同じです。

2.2.2. 静的 IP によるアクセス

ネットワーク接続 :



- ① 設定>ネットワーク>詳細メニュー(「4.4.2 詳細」を参照)に移動して、ポート番号を設定します。
- ② 設定>ネットワーク>TCP/IP メニュー(「4.4.1 TCP/IP」を参照)に移動して、IP アドレスを設定します。「固定 IP アドレス」を選択し、IP アドレスなどのパラメータを入力します。
- ③ Web ブラウザを開き、アクセスする WAN IP と HTTP ポートを入力します。
例 : `http:// 172.16.100.216:8005`

以降は、「2.1.1 IP Finder によるアクセス」と同じです。

3. ライブ画面

右上の“ライブビュー”タブを開きます。



ライブ画面のアイコン説明(中央下)

アイコン	説明	アイコン	説明
	フルスクリーン※1		音声を聞きます※ 2
	スナップショットを作成して PC にダウンロードします		録画を行います。再度クリックすると終了して PC に録画ファイルをダウンロードします※ 3
	警報音を鳴らします※ 2		警報音をオフにします※ 2
	手動トリガーを発報します※ 4		
v01 (1920*1080) v02 (640*360)	再生するライブ画面の画質を、v01(メインストリーム) / v02(サブストリーム)から選択します。各ストリームの設定は、「4.2.2 映像」で行います。		

※1 フルスクリーンモードの終了方法は、キーボードで[ESC]キーを押してください。

※ 2 音声装置をカメラに接続することが必要です。

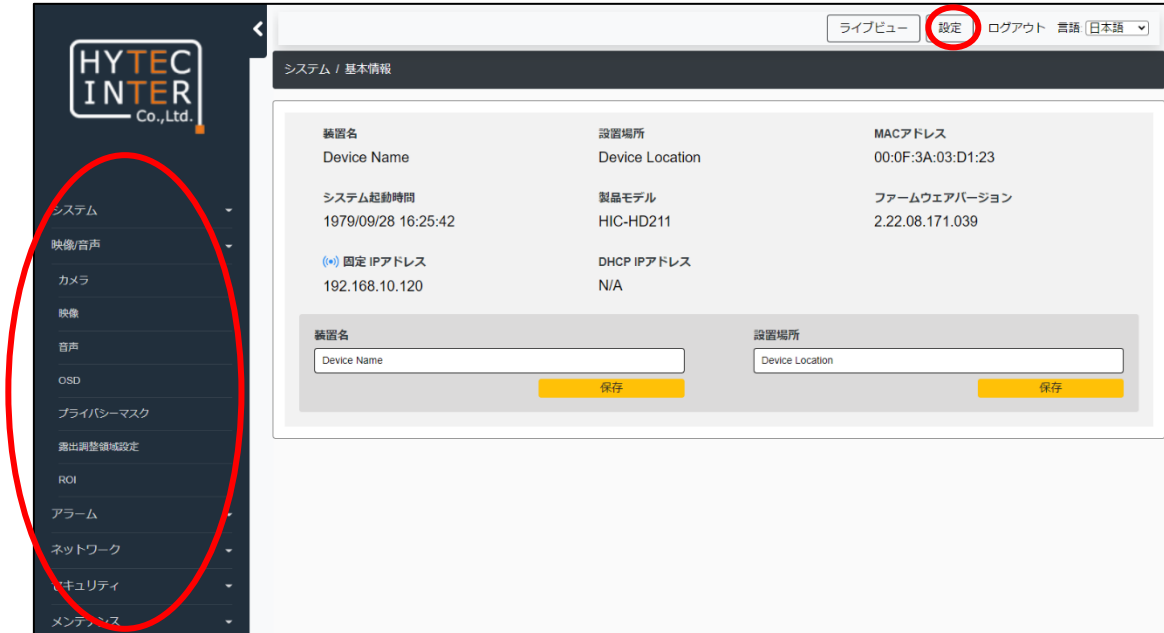
※ 3 長時間の録画の場合、録画ファイルは約 100MB ごとにダウンロードされます。各ファイルの録画時間は設定された映像パラメータにより変化します。ブラウザによっては複数のファイルのダウンロードに許可が

必要な場合がありますので、許可をしてください。録画中に別の画面に移動したり、ブラウザを閉じたりするとダウンロードされませんので、必ず録画を停止してから他の動作を行ってください。


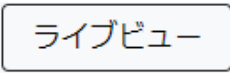
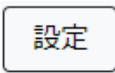
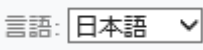
※ 4 手動トリガーは、「4.3.3 イベント」であらかじめ設定が必要です。

4. 設定画面

右上の“設定”タブをクリックするか、左側メニューで該当の設定項目をクリックします。



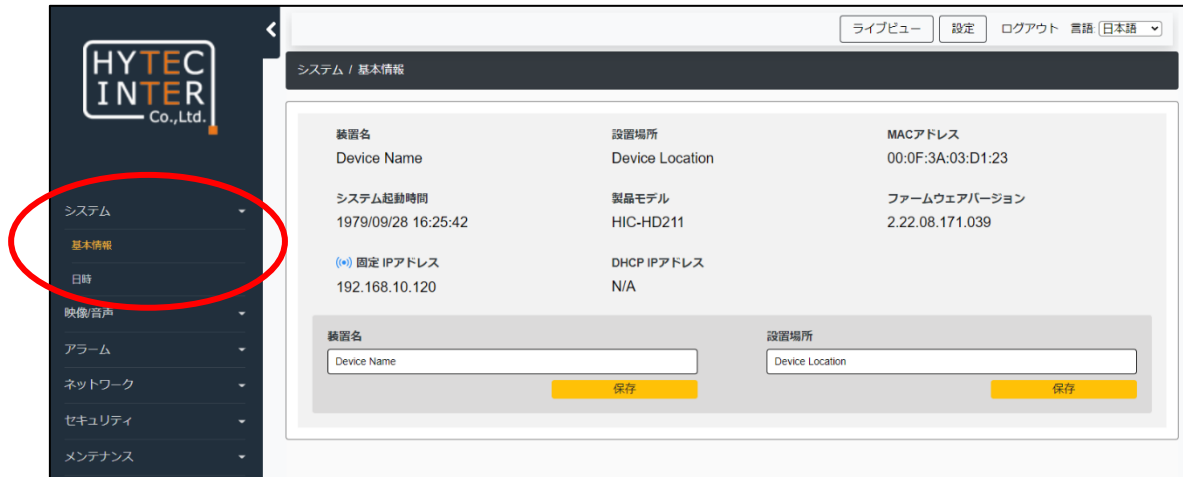
画面のタブの説明(上部)

項目	説明
	左側のメニューを表示・非表示にします
	ライブ画面を表示します
	設定画面を表示します
ログアウト	ログアウトします
言語: 	必要に応じて表示言語を設定します

以降に左側の設定項目について説明します。

4.1. システム

基本情報と日時の2つのサブメニューがあります。



4.1.1. 基本情報

装置名や設置場所、ソフトウェアバージョン、MAC アドレスなど、基本的な情報を表示します。



「装置名」と「設置場所」は変更が可能です。変更する項目を入力して該当する[保存]ボタンをクリックしてください。

4.1.2. 日付と時間

装置の日付と時間の設定を行います。

システム / 日時

システム時間の設定

DST 開始:

月: 01 ▼ 曜日: 1st ▼ 日 ▼ 時間: 00 ▼

DST 終了:

月: 12 ▼ 曜日: 終了 ▼ 土 ▼ 時間: 23 ▼

サマータイム有効

システム日:
2022-09-22

システム時間:
12:08:20

タイムゾーンを選択してください

GMT+09:00: 大阪、札幌、東京、ソウル ▼

設置場所のタイムゾーンの現地時刻に同期する
システム日: 2022-09-22 システム時間: 12:08:58

NTPサーバによる同期

手動設定

システム日: 2022 9

システム時間: 12:07:51 ▼

選択した年月日:
2022-9-22

保存

➤ サマータイム(DST)

サマータイムの開始と終了を設定します。

それぞれ、月の第 X 曜日から Y 時間ずらすかを設定できます。

サマータイム有効をチェックして有効にします。

➤ タイムゾーン

プルダウンメニューからタイムゾーンを選択して設定を行います。

➤ 日時合わせ

日付と時刻の設定は 3 つの方法があります。

◆ PC の時刻に同期

「設置場所のタイムゾーンの現地時刻に同期する」を選択します。

Web ブラウザを表示している PC の時刻に同期します。

◆ NTP

「NTP サーバによる同期」を選択します。

NTP サーバのアドレスは、ネットワークの詳細で設定します。

◆ **手動**

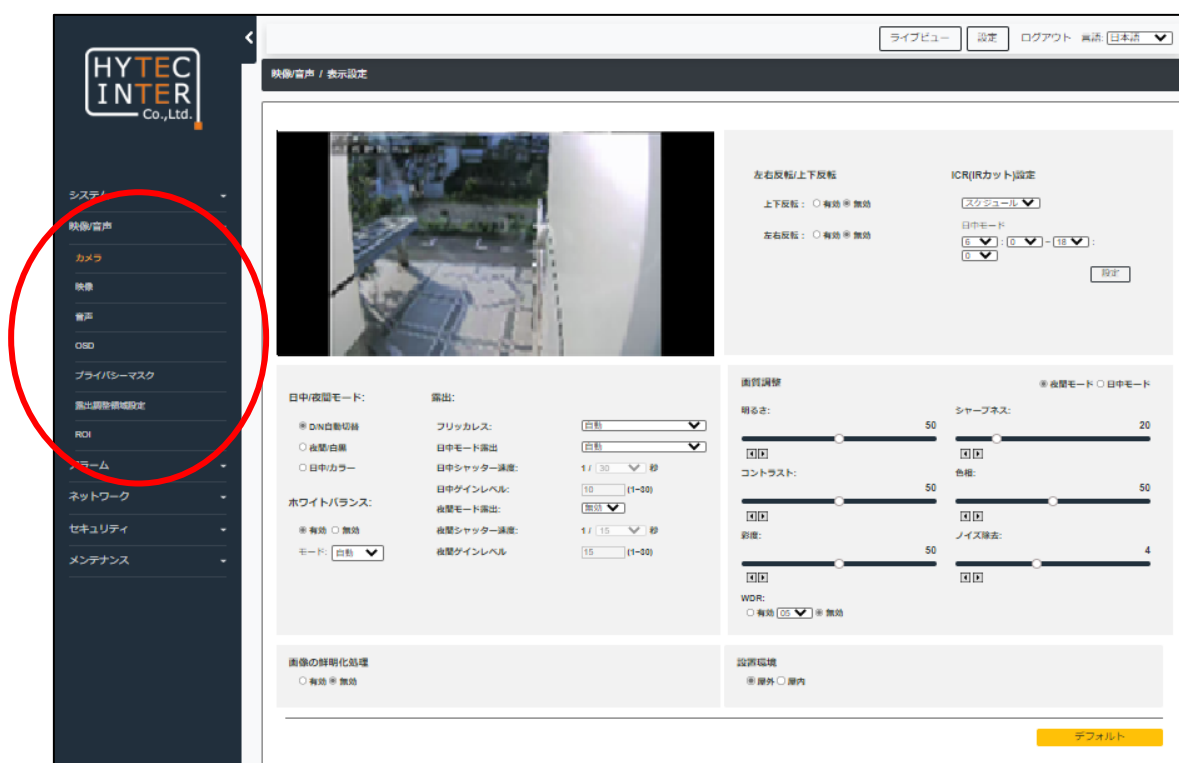
「手動設定」を選択します。

右側に表示されているカレンダーから日付を選択して、時間を入力します。

最後に保存ボタンをクリックします。

4.2. 映像/音声

カメラ、映像、音声、OSD、プライバシーマスク、露出調整領域設定、ROI、7つのサブメニューがあります。



4.2.1. カメラ

カメラの画質(輝度、コントラスト、彩度など)に関するパラメータを設定します。

表示	説明	
上下反転	カメラ画像を上下反転させます。	
左右反転	カメラ画像を左右反転させます。	
ICR(IR カット)設定	カラー撮影(日中)、白黒撮影(夜間)の切り替えに関する設定です。自動切替え、昼間(日中)固定、夜間固定、スケジュールが選択できます。スケジュールを選択した場合は、日中モードの時間帯を設定してください。開始時刻と終了時刻を選択して[設定]ボタンをクリックします。	
日中/夜間モード	D/N 自動切替(日中/夜間)、夜間/白黒、日中/カラーを選択できます。	
ホワイト	有効/無効	ホワイトバランスを調整するか選択します。

バランス	モード	自動を選択した場合は、環境に応じて自動的に色温度を調整します。自動以外の場合は指定した環境に合わせて調整されます。
露出	フリッカレス	ちらつきを防止します。自動/50Hz/60Hz から選択します。
	日中モード露出	自動/手動から選択します。
	日中シャッター速度	日中モード露出が手動の場合、シャッター速度を設定します。
	日中ゲインレベル	日中モード露出が手動の場合、ゲイン値を設定します。ゲイン値が高いほど、画像が明るくなり、画像のノイズが多くなります。
	夜間モード露出	夜間モードの場合の設定を、無効/自動/手動から選択できます。
	夜間シャッター速度	夜間モードが手動設定の場合に、シャッター速度を設定できます。
	夜間ゲインレベル	夜間モードが手動設定の場合に、ゲイン値を設定できます。
画質調整	夜間モード	夜間モードの設定を行います。
	日中モード	日中モードの設定を行います。
	明るさ	カメラ画像の明るさ調整します。
	コントラスト	明暗を調整します。
	彩度	鮮やかさを調整します。
	シャープネス	画像の輪郭強調レベルを調整します。
	色相	色合いを調整します。
	ノイズ除去	デジタルノイズ除去レベルを設定します。
	WDR	ダイナミックレンジを有効にして値を設定します。
画像の鮮明化処理	画像の鮮明化処理の有効/無効の選択をします。	
設置環境	屋内/屋外の選択をします。	
[デフォルト]ボタン	初期値に戻します	

4.2.2. 映像

映像の IP ストリーム(圧縮方式や解像度、フレーム数、ビットレートなど)を設定します。

The screenshot shows a web interface for video settings. It is divided into two sections: 'メインストリーム' (Main Stream) and 'サブストリーム' (Sub Stream). Each section has several input fields and dropdown menus for configuring video parameters.

項目	メインストリーム	サブストリーム
ストリーム名	URL: v01	URL: v02
解像度	1920*1080	640*360
フレームレート	30	30
ビットレート	2000	512
コーデック	H.265	H.265
GOP	30	30
エンコード方式	CBR	CBR
品質	40	40
JPEG画質	50	50

A yellow '保存' (Save) button is located at the bottom right of the interface.

表示	説明
URL	ストリーム配信パス名を設定します。
解像度	カメラ画像の表示解像度を設定します。
フレームレート	フレームレートを設定します。 フレームレートが高いほど、映像は滑らかになります。
ビットレート (Kbps)	エンコード方式で CBR を選択した場合、ビットレート設定ができます。 ビットレートが高いほど、画質が向上します。
コーデック	H.265/MJPEG を設定します。
GOP	I-フレームの送信間隔を設定します。
エンコード方式	VBR または CBR から選択します。 VBR : 可変ビットレート / CBR : 固定ビットレート
品質	VBR を選択した場合、ビデオ品質設定ができます。 品質が高いほど、ビットレートは高くなります。
JPEG 画質	MJPEG を選択した場合に、画像品質を設定できます。 品質が高いほど、データサイズは大きくなります。

最後に[保存]ボタンをクリックして、設定を反映させます。

4.2.3. 音声

音声に関する設定を行います。



表示	説明
音声入力形式	音声のコーデックを設定します。
音声出力音量	音声の出力レベルを設定します。
音検知閾値	音声の検知レベルを設定します。

最後に保存ボタンをクリックして、設定を反映させます。

4.2.4. OSD

OSD (On Screen Display) に関する設定を行います。



表示	説明
カメラ名	チェックを入れ、有効にします。 カメラ名を入力すると、ディスプレイ上にカメラ名が表示されます。
日付/日時	チェックを入れ、有効にします。
表示位置	表示する場合の表示位置を選択します。

最後に保存ボタンをクリックして、設定を反映させます。

4.2.5. プライバシーマスク

プライバシー保護のためのマスク設定を行います。プライバシーマスクは最大 4 か所に設定できます。



プライバシーマスクの設定方法

- ① マスク 1～4 の文字の前にチェックを入れ、プライバシーマスクを有効にします。



- ② 赤い四角の枠内でクリックしたまま、該当するエリアへ四角い枠をドラッグして移動させます。



- ③ 枠の付近で表示される矢印に従い、枠を拡大・縮小します。
- ④ 最後に保存ボタンをクリックして設定を保存します。

4.2.6. 露出調整領域設定

露出調整を行う領域を設定します。1 か所に設定できます。「4.2.1 カメラ」で露出を自動に設定した場合のみ有効です。



露出調整領域の設定方法

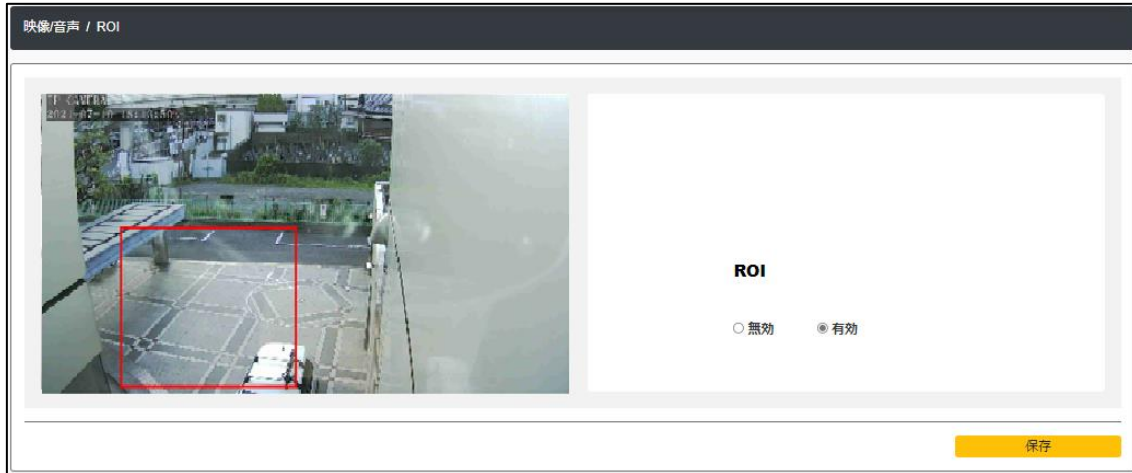
- ① 赤い四角の枠内でクリックしたまま、該当するエリアへ四角い枠をドラッグして移動させます。



- ② 枠の付近で表示される矢印に従い、枠を拡大・縮小します。
- ③ 最後に保存ボタンをクリックして設定を保存します。

4.2.7. ROI(Region of Interest)

ROI を行う領域を設定します。1 か所に設定できます。



ROI 領域の設定方法

- ① [有効]をチェックします。
- ② 画像の赤い四角の枠が大きい場合は、枠付近で表示される矢印に従い、枠を縮小します。
- ③ 赤い四角の枠内でクリックしたまま、該当するエリアへ四角い枠をドラッグして移動させます。



- ④ 枠の付近で表示される矢印に従い、枠を拡大・縮小して調整します。
- ⑤ 最後に保存ボタンをクリックして設定を保存します。

4.3. アラーム設定

動体検知、アラームサーバ、イベント、3つのサブメニューがあります。



4.3.1. 動体検知

動体検知のエリア設定を設定します。



➤ 領域選択

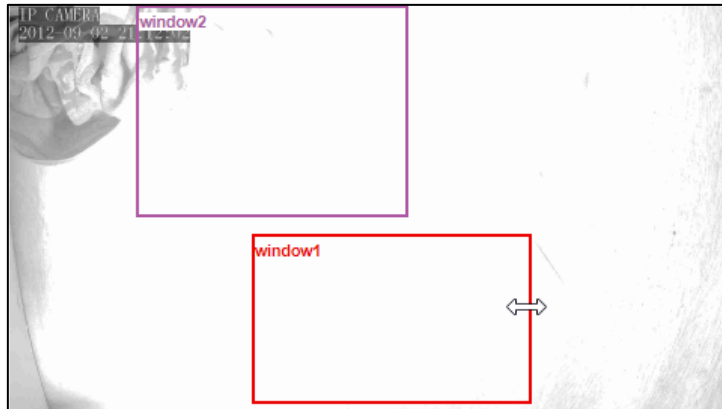
左側画像下の追加ボタンをクリックして新規領域を追加します。4個の領域を設定できます。

または、設定済みの領域名の横のチェックボックスをチェックすると、右側下に設定内容が表示されますので、内容を変更します。

設定済みの領域をチェックして削除ボタンをクリックすると、その領域が削除されます。

➤ 動体検知設定

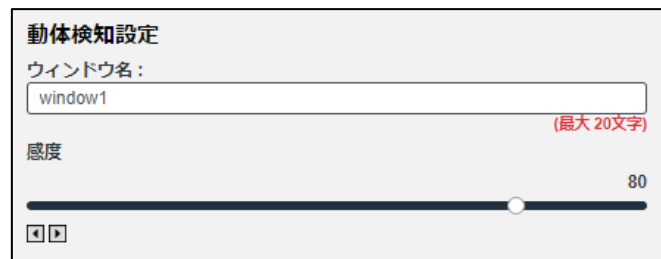
動体検知のアラームを設定します。



画面の四角を希望する領域にあわせて移動や拡大縮小を行います。

- ・四角の中でマウスの左ボタンを押しながらドラッグして、四角を移動させます。
- ・上図のように四角の枠線上でカーソルの変化に合わせて左ボタンを押しながらドラッグして、拡大や縮小を行います。

右側下の入力項目はパラメータ値を変更できます。



表示	説明
ウィンドウ名	動体検知領域の名称です。四角の左上に表示されます。 追加時は[New_Motion]になっています。
感度	動体検知の感度です。高いと検知頻度は上がりますが、誤検知も多くなります。低いと検知できない可能性が上がります。環境に合わせて最適な値に設定してください。

最後に、[変更]ボタンをクリックして、設定や変更内容を保存します。

4.3.2. アラームサーバ

動体検知した時に通知するサーバを設定します。

FTP と SMTP(メール)が設定できます。

アラーム / アラームサーバ

FTP追加 SMTP追加 (注: 単体イベントサーバの最大数は4です。)

FTPサーバ

名前: (最大32文字)

ネットワークアドレス: ポート: [1...65535]

アップロードパス:

ユーザ名: パスワード: (最小4文字、最大32文字)

テスト

保存

イベントサーバリスト

名前	プロトコル	アドレス	アップロードパス	ユーザ名
a	FTP	192.168.10....		user

➤ FTP 通知

上記のアラームサーバ画面で FTP 追加ボタンをクリックするか、設定済みの FTP プロトコル行をクリックすると、下図の設定画面がリスト表の下に表示されます。

内容を入力し、[テスト]ボタンで正常性を確認後、保存ボタンで設定を保存します。

FTP追加 SMTP追加 (注: 単体イベントサーバの最大数は4です。)

FTPサーバ

名前: (最大32文字)

ネットワークアドレス: ポート: [1...65535]

アップロードパス:

ユーザ名: パスワード: (最小4文字、最大32文字)

テスト

保存

表示	説明
名前	他の設定と区別できるように設定名を入力してください。
ネットワークアドレス	FTP サーバのアドレスを入力してください。
ポート	FTP サービスのポート番号を入力してください。
アップロードパス	画像ファイルを送信するサーバのフォルダを指定します。設定するユーザが書き込みアクセス可能なフォルダである必要があります。
ユーザ名	FTP サーバへログインするユーザ名を入力してください。
パスワード	ログインに必要なパスワードを入力してください。

➤ SMTP 通知

上記のアラームサーバ画面で SMTP 追加ボタンをクリックするか、設定済みの SMTP プロトコル行をクリックすると、下図の設定画面がリスト表の下に表示されます。

[Protocol]で選択できるプロトコルで電子メールの送信が可能なサーバに限ります。

内容を入力し、[テストメール]ボタンで電子メールの送信が正常であることを確認し、保存ボタンで設定を保存します。

(注: 単体イベントサーバの最大数は4です。)

SMTPサーバ

名前: (最大32文字)

電子メールアドレス:

メールサーバ: (ホスト名またはIPアドレス)

ユーザ名: (最大128文字)

ポート: [1...65535]

パスワード: (最小4文字、最大32文字)

Protocol: none ▼

表示	説明
名前	他の設定と区別できるように設定名を入力してください。
電子メールアドレス	送信するメールアドレスを入力してください。
メールサーバ	メールサーバのネットワークアドレスを入力してください。
ポート	SMTP サービスのポート番号を入力してください。
ユーザ名	SMTP サービスへログインするユーザ名を入力してください。
パスワード	ログインに必要なパスワードを入力してください。
Protocol	電子メールの送信プロトコルを設定してください。 SMTP サービスがサポートしているプロトコルである必要があります。

➤ イベントサーバーリストの編集

また、設定した行をクリックすると、内容が画面下に表示され、内容を変更したり削除したりできます。

設定した行をクリックして選択し、変更して[変更]ボタンをクリックしてください。

削除する場合は、[削除]ボタンをクリックすると削除されます。

イベントサーバーリスト

名前	プロトコル	アドレス	アップロードパス	ユーザ名
a	FTP	192.168.10...		user

4.3.3. イベント

動体検知した時、あるいは連続動作での処理内容を設定します。

追加ボタンで新規のイベントを作成するか、設定したイベント行をクリックすることで修正できます。

イベント行の ON/OFF ボタンをクリックして、連続動作の設定ができます。

設定したイベント行をクリックして、削除ボタンで設定を削除できます。

アラーム / イベント					
シリアルナンバー	イベント名	イベントタイプ	動作スケジュール	連携動作	
1	MOTION	<input checked="" type="checkbox"/> 動体検知	常時動作	<ul style="list-style-type: none"> FTP で画像をアップロード 	<input type="button" value="変更"/> <input type="button" value="削除"/>
2	b	<input checked="" type="checkbox"/> 手動トリガー	常時動作	<ul style="list-style-type: none"> FTP で画像をアップロード 	<input type="button" value="変更"/> <input type="button" value="削除"/>

(注: イベント最大数は10.)

➤ イベント設定

追加イベントボタンをクリックするか、設定したイベント行をクリックすると、イベントリストの下に下図が表示されます。必要な設定を行い、最後に[保存]ボタンをクリックして設定を保存します。

(注: イベント最大数は10.)

追加イベント

イベント設定

イベント名: (最大 20文字)

トリガー対象

連続動作 動体検知 手動トリガ 音検知

動作スケジュール

常時動作 停止 スケジュール動作

	00	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
日																								
月																								
火																								
水																								
木																								
金																								
土																								

マルチゾーン設定では、Ctrlキーを押しながらマウスをドラッグする必要があります

イベント連携動作

FTP で画像をアップロード

① FTP [a]

間隔: (2 - 200) 秒

電子メール送信通知 [m]

間隔: 秒

To: (最大80文字)

件名: (最大80文字)

メッセージ: (最大80文字)

ファイル添付 ファイルタイプ: ● JPEG

表示	説明
イベント名	他のイベントと区別できるように名前を入力してください。
トリガー対象	対象イベントにチェックしてください。 連続動作：検知に関係なく動作します 動体検知：設定した動体検知した場合に動作します 手動トリガー：手動で動作させるトリガーです 音検知：音を検知した場合に動作します
動作スケジュール	トリガーが発生する時間帯を設定します。 常時動作：常時動作します 停止：トリガー動作を行いません スケジュール動作：1 週間のスケジュール表でスケジュールを設定します
イベント連携動作	トリガーが発生した場合に動作させる処理を選択します。 FTP で画像をアップロード：FTP で画像を送信します。 アップロードする FTP サーバと送信間隔を設定してください 電子メール送信通知：電子メールで通知します メールサーバ、To(送信先アドレス)、件名、メッセージ、ファイル添付を設定してください 注：サーバは、「4.3.2 アラームサーバ」で設定しておく必要があります。

スケジュール動作

曜日と時間で動作をする時間帯を設定できます。

動作スケジュールで「スケジュール動作」を選択すると下図が表示されます。

縦軸が曜日、横軸が時間になっています。

設定したい時間帯で CTRL キーを押しながらクリックするか、ドラッグして設定します。

再度 CTRL キーとクリックで解除できます。

クリアボタンをクリックすると、全ての設定がクリアされます。

動作スケジュール

常時動作
 停止
 スケジュール動作

	00	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
日																								
月																								
火																								
水																								
木																								
金																								
土																								

マルチゾーン設定では、Ctrlキーを押しながらマウスをドラッグする必要があります

クリア

FTPで画像をアップロード

イベント連携動作で「FTPで画像をアップロード」を選択した場合、送信するFTPサーバと送信間隔を設定します。

FTPで画像をアップロード

FTP a ▼

間隔: (2 ~ 200)秒

電子メール送信通知

イベント連携動作で「電子メール送信通知」を選択した場合、送信するSMTPサーバ、送信間隔、To(送信先)、件名、メッセージ、画像ファイル添付の有無を設定します。

電子メール送信通知 m ▼

間隔: 秒

To: (最大80文字)

件名: (最大80文字)

メッセージ: (最大80文字)

ファイル添付 ファイルタイプ: ●JPEG

4.4. ネットワーク

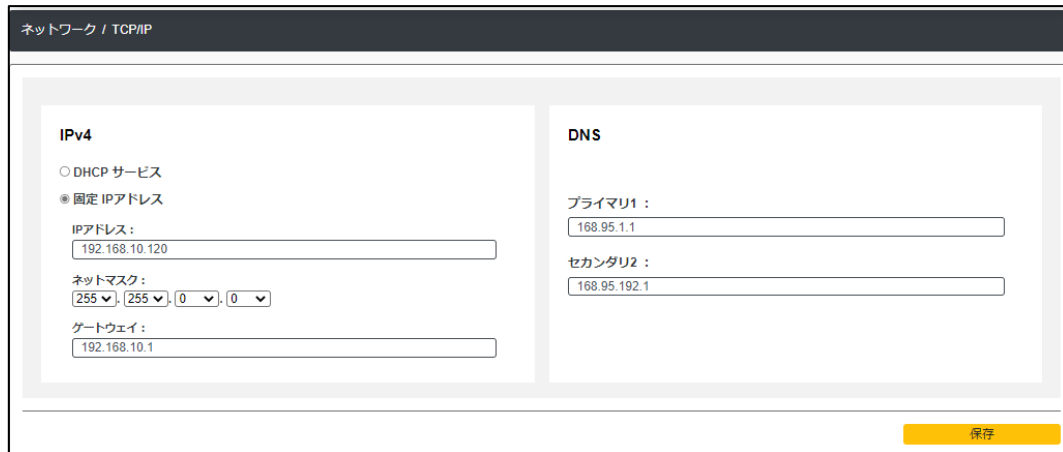
TCP/IP、詳細、2つのサブメニューがあります。



4.4.1. TCP/IP

ネットワークの設定を行います。

最後に保存ボタンをクリックして設定を保存します。



IPv4 の設定方法

- ◆ **DHCP**
DHCP より自動的に IP アドレスを取得します。
- ◆ **固定 IP アドレス**
IP アドレス、ネットマスク、ゲートウェイを手動で設定します。

DNS の設定方法

プライマリおよびセカンダリの DNS サーバを設定します。

最後に[保存]ボタンをクリックしてください。

4.4.2. 詳細

NTP、HTTP、RTSP、FTP、UPnP、ARP/Ping の設定を行います。

最後に保存ボタンをクリックして保存します。

The screenshot shows a web interface for network settings. The title is 'ネットワーク / 詳細'. There are two main sections: 'NTP設定' and 'RTSP設定'.
 In the 'NTP設定' section, there is a text input for '次のNTPサーバアドレスを使用:' with 'pool.ntp.org' entered. A checkbox 'From DHCP' is checked. Below it is a dropdown menu for time zone set to '10' and '時分'. Under 'Port:', there are checkboxes for 'HTTP有効', 'RTSP有効', 'FTP有効', 'UPnP有効', and 'ARP/Ping有効'. To the right, there are three port input fields: 'ポート 80', 'ポート 554', and 'ポート 21'.
 In the 'RTSP設定' section, there is a text input for 'rtsp : //XXX.XXX.XX.XX (IPアドレス/ビデオストリーミングアドレス)'. Below it are radio buttons for '匿名' (selected) and '認証'. Under '認証', there are input fields for 'ユーザー名:' and 'パスワード:'.
 A yellow '保存' (Save) button is located at the bottom right of the form area.

表示	説明
NTP 設定	NTP サーバのアドレスを設定します。[from DHCP]をチェックして、DHCP で取得することもできます。 「システム/日時」で時刻同期を NTP で行う場合に必要です。
HTTP 有効	デフォルトの HTTP ポートは 80 です。
RTSP 有効	デフォルトの RTSP ポートは 554 です。
FTP 有効	チェックを入れて有効にします。 デフォルトの FTP ポートは 21 です。
UPnP 有効	チェックを入れて有効にします。 UPnP 機能を持つ VMS/CMS などに自動で登録が可能になります。 ※インターネット上に設置する場合、セキュリティを考慮してください
ARP/Ping 有効	チェックを入れて ARP や Ping 応答を有効にします。 ※インターネット上に設置する場合、セキュリティを考慮してください
RTSP 設定	匿名か認証かを選択してください。 匿名：アノニマスでアクセス可能になります。 認証：ユーザー名とパスワードでアクセス可能になります。

※設定については、セキュリティを考慮して設定してください。

4.5. セキュリティ設定

ユーザ、ストリーミングオンラインリスト、2つのサブメニューがあります。



4.5.1. ユーザ

ユーザの追加、変更、削除を行います。管理者アカウントの admin は削除できません。



ユーザの追加方法

- ① 右側中央上の[追加]ボタンをクリックすると、ユーザ設定が表示されます。
- ② ユーザ区分を選択します。
 - ・ 管理者：すべての権限を持っています。
 - ・ カメラ管理者：「ユーザ」、「更新」以外、管理者と同じ権限を持っています。
 - ・ ユーザ：「ライブ」のみ可能です。設定の変更はできません。
 - ・ FTP：FTPのみ可能です。設定の変更はできません。
- ③ ユーザ名とパスワード(とパスワード確認)を入力します。パスワードは下に示されるパスワード強度を参考に設定してください。**パスワードは、8～16文字で、数字および「英字の大文字、小文字」が含まれていないと作成できません。**
- ④ 保存をクリックします。

パスワードの変更方法

- ① ユーザリストのユーザ行をクリックすると、ユーザ追加と同様にユーザ設定が表示されます。
- ② 新しいパスワードを入力し、[変更]ボタンをクリックします。パスワードは、8～16文字で、「英字の大文字、小文字」が含まれていないと変更できません。

ユーザの削除方法

- ① ユーザリストのユーザ行をクリックすると、ユーザ追加と同様にユーザ設定が表示されます。
- ② [削除]ボタンをクリックします。

4.5.2. オンライン

オンライン接続状況を表示します。



4.6. メンテナンス

バックアップと復元、再起動、更新、操作ログ、システムログ、5つのサブメニューがあります。



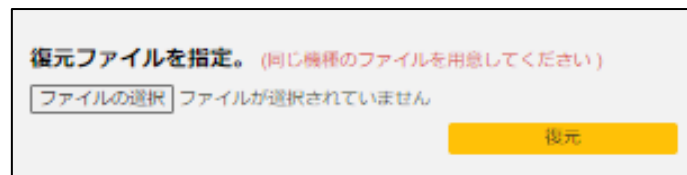
4.6.1. バックアップと復元

システム構成のバックアップと復元、工場出荷時へのリセットを行います。



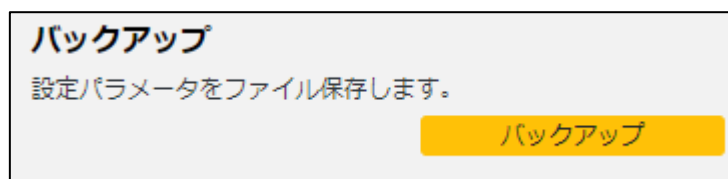
➤ 復元ファイルを指定

[ファイル選択]をクリックして、バックアップファイルを選択します。[復元]をクリックして、設定を復元します。



➤ バックアップ

バックアップをクリックして、設定をバックアップします。

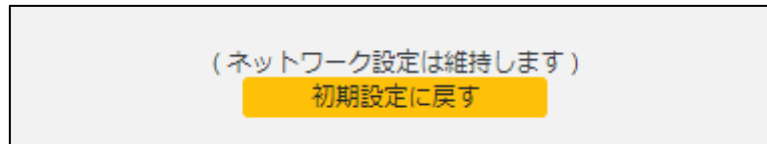


ファイル名は「backup.zip」から変更しない旨の警告がでますので、[OK]をクリックしてください。

しばらくするとファイルのダウンロードが始まります。終了したら、ダウンロードフォルダから適切なフォルダへ移動してください。

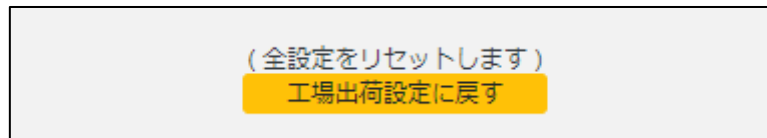
➤ 初期設定に戻す

「初期値に戻す」をクリックして、設定を初期設定に戻します。ネットワーク設定は変更しません。



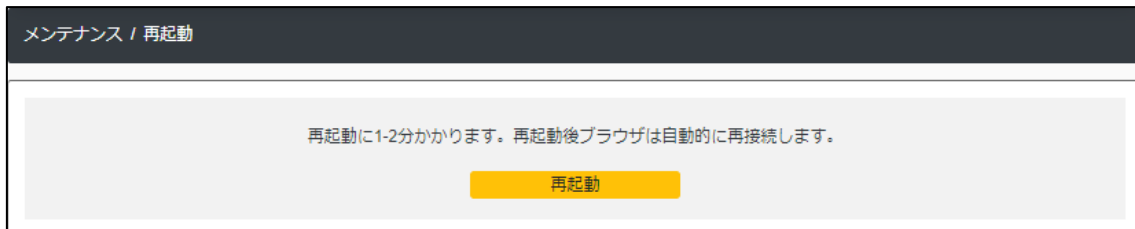
➤ 工場出荷設定に戻す

「工場出荷設定に戻す」をクリックして、設定を全て初期化します。



4.6.2. 再起動

カメラの再起動を行います。



※ 再起動中は監視などの機能は動作しません。

4.6.3. 更新

カメラのソフトウェアを更新します。

[ファイルの選択]をクリックして、更新ファイルを指定し、[更新]ボタンをクリックします。

※ アップグレード中はブラウザを閉じたり、カメラをネットワークから切断したりしないでください。

※ アップグレード中は監視などの機能は動作しません。

4.6.4. 操作ログ

ログを表示します。

開始および終了日時、ログのタイプを選択して[検索]ボタンをクリックしてください。

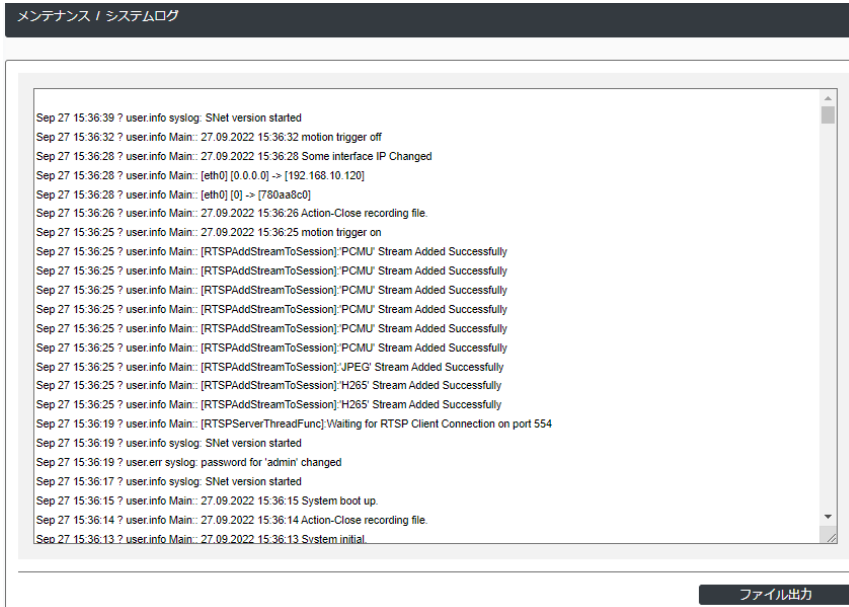
[エクスポート]をクリックすると、ログをダウンロードできます。

番号	時刻	メインタイプ	サブタイプ	ユーザー名	ログインIP
1	2022/10/03 09:54:25	警報	モーション検知トリガー		
2	2022/10/03 09:54:20	警報	モーション検知トリガー		
3	2022/10/03 09:54:15	警報	モーション検知トリガー		
4	2022/10/03 09:54:10	警報	モーション検知トリガー		
5	2022/10/03 09:54:02	警報	モーション検知トリガー		
6	2022/10/03 09:53:57	警報	モーション検知トリガー		
7	2022/10/03 09:53:52	警報	モーション検知トリガー		
8	2022/10/03 09:53:47	警報	モーション検知トリガー		
9	2022/10/03 09:53:42	警報	モーション検知トリガー		
10	2022/10/03 09:53:09	警報	モーション検知トリガー		
11	2022/10/03 09:53:02	警報	モーション検知トリガー		
12	2022/10/03 09:52:57	警報	モーション検知トリガー		
13	2022/10/03 09:52:41	警報	モーション検知トリガー		
14	2022/10/03 09:52:36	警報	モーション検知トリガー		

4.6.5. システムログ

システムに関するログを表示します。

[ファイル出力]をクリックすると、ログをダウンロードできます。



メンテナンス / システムログ

```
Sep 27 15:36:39 ? user:info syslog: SNet version started
Sep 27 15:36:32 ? user:info Main: 27.09.2022 15:36:32 motion trigger off
Sep 27 15:36:28 ? user:info Main: 27.09.2022 15:36:28 Some interface IP Changed
Sep 27 15:36:28 ? user:info Main: [eth0] [0.0.0.0] -> [192.168.10.120]
Sep 27 15:36:28 ? user:info Main: [eth0] [0] -> [780aa8c0]
Sep 27 15:36:26 ? user:info Main: 27.09.2022 15:36:26 Action-Close recording file.
Sep 27 15:36:25 ? user:info Main: 27.09.2022 15:36:25 motion trigger on
Sep 27 15:36:25 ? user:info Main: [RTSPAddStreamToSession] 'PCMU' Stream Added Successfully
Sep 27 15:36:25 ? user:info Main: [RTSPAddStreamToSession] 'PCMU' Stream Added Successfully
Sep 27 15:36:25 ? user:info Main: [RTSPAddStreamToSession] 'PCMU' Stream Added Successfully
Sep 27 15:36:25 ? user:info Main: [RTSPAddStreamToSession] 'PCMU' Stream Added Successfully
Sep 27 15:36:25 ? user:info Main: [RTSPAddStreamToSession] 'PCMU' Stream Added Successfully
Sep 27 15:36:25 ? user:info Main: [RTSPAddStreamToSession] 'PCMU' Stream Added Successfully
Sep 27 15:36:25 ? user:info Main: [RTSPAddStreamToSession] 'JPEG' Stream Added Successfully
Sep 27 15:36:25 ? user:info Main: [RTSPAddStreamToSession] 'H265' Stream Added Successfully
Sep 27 15:36:25 ? user:info Main: [RTSPAddStreamToSession] 'H265' Stream Added Successfully
Sep 27 15:36:19 ? user:info Main: [RTSPServerThreadFunc] Waiting for RTSP Client Connection on port 554
Sep 27 15:36:19 ? user:info syslog: SNet version started
Sep 27 15:36:19 ? user:err syslog: password for 'admin' changed
Sep 27 15:36:17 ? user:info syslog: SNet version started
Sep 27 15:36:15 ? user:info Main: 27.09.2022 15:36:15 System boot up.
Sep 27 15:36:14 ? user:info Main: 27.09.2022 15:36:14 Action-Close recording file.
Sep 27 15:36:13 ? user:info Main: 27.09.2022 15:36:13 System initial.
```

ファイル出力

5. 製品仕様

製品名	映像伝送器 VI 型 (HIC-HB211) / 映像伝送器 VII 型 (HIC-HD211)	
形状	HB211:バレット / HD211:ドーム	
カメラ部		
撮像素子	1/3" 2MP CMOS SENSOR	
最低被写体照度	Color : <u>0.05Lux@F2.4/AGC=ON 時</u> /IR ON 時 : 0Lux	
赤外線 LED	20m	
レンズ	固定焦点 3.6mm (画角水平 83°)	
DAY&NIGHT	ICR 自動	
シャッター速度	1/10~1/10,000	
DNR (ノイズ除去)	3DNR	
WDR 機能	あり	
Defog 補正	あり	
その他の機能	OSD タイトル表示、音検知、動体検知	
ネットワーク部		
画像圧縮方式	H.265/MJPEG	
画像サイズ	1080P(1920×1080)、720P(1280×720)、360P(640×360)	
ストリーム	Main	1080P@30fps、720P@30fps、360P@30fps
	2nd	360p@30fps
	3rd	—
ビットレート	CBR/VBR(ビットレート設定:Main=1M~4Mbps、2nd=256K~1Mbps)	
画像設定	ホワイトバランス、露光時間、色相、ミラー、フリップ、彩度、明るさ、 コントラスト、シャープ、WDR など	
ROI	可能	
音声圧縮	G711μ	
双方向通話	可能	
ネットワークプロトコル	TCP/IP、UDP、DHCP、NTP、RTSP、SMTP、FTP	
スマートアラーム	動体検知、音検知	
外部インターフェース		

SD カードスロット	—
音声	IN/OUT 各 1CH
イーサネット	RJ-45
DC 入力コネクタ	+12V
一般	
電源	DC12V (±10%) / PoE(48V) ※AC アダプタ/PoE インジェクタは付属無し
消費電力 (最大)	最大 5W
動作温度	-10℃～+50℃
動作湿度	～85%RH (結露なきこと)
寸法	HB211:W79 x H69 x D212mm / HD211:Φ119 x 86mm
防水/防滴構造	IP68
重量	HB211:488g / HD211:552g

6. 困ったときには

本製品の使用中に何らかのトラブルが発生したときの対処方法について説明いたします。

本体の電源が入らない

以下の点を確認してください。

- 電源コンセントには、電源が供給されているか。
- 電源には、適切な電圧が供給されているか。
- 正しく PoE 給電されているか。PoE に対応したスイッチやインジェクタを使用しているか。

RJ-45 ポートでリンクが確立しない

以下の点を確認してください。

- ネットワーク機器（ネットワークスイッチなど）の電源が入っているか。
- 各コネクタとケーブルが正しく接続されているか。

IE ブラウザ経由でデバイスを接続できない、あるいは、表示がおかしい

IE ブラウザはサポートしておりません。他のブラウザをご利用ください。

IP Finder でデバイスを見つけられない

- コンピュータのウイルス対策ソフトウェアが原因である可能性があります。ウイルス対策ソフトウェアを停止して、デバイスを再度検索してください。

7. 製品保証

- ◆ 故障かなと思われた場合には、弊社カスタマサポートまでご連絡ください。
 - 1) 修理を依頼される前に今一度、この取扱説明書をご確認ください。
 - 2) 本製品の保証期間内の自然故障につきましては無償修理させていただきます
 - 3) 故障の内容により、修理ではなく同等品との交換にさせて頂く事があります。
 - 4) 弊社への送料はお客様の負担とさせていただきますのでご了承ください。

製品保証期間：

《本体》ご購入日より **1年間** (お預かりによる修理、または交換対応)

- ◆ 保証期間内であっても、以下の場合は有償修理とさせていただきます。
(修理できない場合もあります)
 - 1) 使用上の誤り、お客様による修理や改造による故障、損傷
 - 2) 自然災害、公害、異常電圧その他外部に起因する故障、損傷
 - 3) 本製品に水漏れ・結露などによる腐食が発見された場合
- ◆ 保証期間を過ぎますと有償修理となりますのでご注意ください。
- ◆ 一部の機器は、設定を本体内に記録する機能を有しております。これらの機器は修理時に設定を初期化しますので、お客様が行った設定内容は失われます。恐れ入りますが、修理をご依頼頂く前に、設定内容をお客様にてお控えください。
- ◆ 本製品に起因する損害や機会の損失については補償致しません。
- ◆ 修理期間中における代替品の貸し出しは、基本的に行っておりません。別途、有償サポート契約にて対応させて頂いております。有償サポートにつきましてはお買い上げの販売店にご相談ください。
- ◆ 本製品の保証は日本国内での使用においてのみ有効です。

製品に関するご質問・お問い合わせ先

ハイテクインター株式会社

カスタマサポート

TEL 0570-060030

E-mail support@hytec.co.jp

受付時間 平日 9 : 00 ~ 17 : 00